



書道家  
武田双龍



先月の「綺麗な人・イカす人」珠玉の言葉  
小島慶子

×



第二十九筆

風呂に入ることと、人に逢うことに、後悔はなし

糸井重里さんの言葉だったんですけど、「どんなに嫌だなと思っても、お風呂に入ることと、人に逢うことは、やってみて、後悔することはない」という意味です。疲れて帰って、お風呂に入らないでこのまま寝てしまおうかな、と思ってもがんばって入ってみると、気持ちよくてよかったって思える。人を紹介してもらえると聞いて、億劫だなーと思っても行ってみると、いい出会いがある。大切にしている言葉です。

武田双龍

能動的に行動することによって、  
日常に深みが増すと信じています。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。  
書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。  
テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。  
<http://so-ryu.com/>